

地域医療連携新聞

No.53

平成25年6月号
(隔月発行)

発行/朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

最近の話題・トピックス

「慢性胃炎に対する ヘリコバクター・ピロリの 除菌の保険適用について」

消化器内科 加藤 隆弘

平成25年2月22日、慢性胃炎に対して待望のヘリコバクター・ピロリ (*H.pylori*) の除菌の保険適用が認められた。過去、胃・十二指腸潰瘍の再発抑制を目的として*H.pylori*に対する除菌療法が第一に保険適用が認可され、その後2010年6月には公知申請の形で胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、さらには早期胃癌内視鏡治療 (EMR、ESD) 後の胃における癌の異時性胃癌の発生予防を目的として適応拡大がなされてきた。この間、多くの患者さんが除菌療法の恩恵に浴してきたが、さらにこの2月の慢性胃炎に対する除菌療法の保険適用の適応拡大により3,500~4,000万人といわれる本邦の*H.pylori*感染者に広く治療の門戸が開かれた。国民総除菌時代の幕開けである。昨秋からこのような動きがあることは風の便りには聞いていたが、*H.pylori*を重要な研究テーマとして位置づけてきた諸学会が政府に慢性胃炎に対する除菌療法の保険適用を強く要請し、政府も財源が大変厳しい中、今回これに呼応していただいた。これは胃癌大国である日本から一日でも早く胃癌を予防し、胃癌で亡くなる方を零にしたいという国民の切なる要望が国を動かし、政府の英断を生んだのであろう。

慢性胃炎に対する除菌療法が保険適用されることになったというNHKのニュースが2月21日に流れ、早速22日には多くの患者さんが外来にこられることとなった。以前より、慢性胃炎に対しては自由診療として除菌療法は行ってきたが、今回は保険適用の適応拡大が得られたことに加え、胃癌の予防が可能であるというインパクトの大きい、しかもNHKで大きく取り上げられたことが国民の関心を呼んだわけである。やはり、国民の癌に対する関心の高さが改めて伺われる。

慢性胃炎の概念は、古くは1728年Stahlの提唱に始まる。1831年のBroussiasの研究に続き、1928年にはKonjetzneyが病理学的疾患単位として位置づけ、さらには1936年には慢性胃炎研究史上有名なSchindlerの内視鏡分類が提唱されている。1983年にノーベル賞を受賞したWarrenとMarshallにより*H.pylori*が発見され、その後Sydney systemによる新たな胃炎分類が提唱されてきた。しかし今まで慢性胃炎の概

念や分類で確立されたものは未だなく、本邦でも内視鏡的胃炎、組織学的胃炎、症候性胃炎などその概念や異同は混乱し、臨床的にはすべて慢性胃炎という保険病名がつけられてきたのが現状である。

しかし、今回の慢性胃炎の除菌療法の保険適用の拡大により、慢性胃炎とは内視鏡的慢性胃炎のことを意味し、さらにこれは*H.pylori*感染による組織学的胃炎を反映するものと明確に示された。すなわち、内視鏡的慢性胃炎は組織学的慢性胃炎とほぼ同一の概念であることが示されたわけである。

*H.pylori*除菌療法にはまず、内視鏡検査による慢性胃炎の診断、その後の*H.pylori*感染診断が必要とされており、逆の診断順序は容認されていない。*H.pylori*感染診断には侵襲法、非侵襲法があるが、感度や特異度、感染診断の条件など十分念頭に入れることが必要である。また、慢性胃炎が広く保険病名として適用されたためか、慢性胃炎の内視鏡診断は実地医家に正しく理解されていないケースもあるようである。体部や前庭部の稜線状発赤、前庭部のびらんをみて安易に慢性胃炎と診断しないよう、基本に戻って慢性胃炎の内視鏡診断を勉強したいものである。

最近まではたかが慢性胃炎であったかもしれないが、活動性胃炎→萎縮性胃炎→腸上皮化生→胃癌の経過をとる重要な疾患である。「*H.pylori*除菌は高齢だから受けても遅い」ということはない。若年であればあるほど胃癌の発生の予防効果は高いことは事実のようであるが50歳代でも70%以上、71歳以上でも50%ぐらいの予防効果があると報告されている。一人でも多くの患者さんの生命を救えるよう、慢性胃炎の診療に力を注ぎたいものである。

なお、当院の井田和徳先生が代表世話人となって全国の多くの施設が参加して「慢性胃炎の内視鏡診断の確立のための研究会」を設立し、慢性胃炎の内視鏡診断について多施設共同研究を行いました。当院の消化器内科も参加し、その成果は4編の欧文論文として既に公表されています。ご希望の方は当方までご請求下さい。

新任
医師の
ご紹介



6月より

外科 助教
桐野 泉



診療医ご案内



(平成25年 6月 1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	下村 (非常勤)	大洞	非常勤医	加藤(隆)	森本 大島(靖)
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	—	加藤(隆)
	予約診	森本	大島(靖)	—	—	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	谷畠 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井 柳瀬	武田 柳瀬	武田 佐々木	猿井 佐々木	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		金村	栗林	舟口 (非常勤)	栗林	栗林	金村
外科		久米	桐野	久米	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	桐野	—	中嶋	—
乳腺外科	1診	川口	細野	細野	細野	川口 (2・4週目)	細野 (1・3・5週)
	2診	細野	川口	川口	川口	細野	川口 (2・4週)
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤	郭
		山下	宮居	船津	宮居	—	船津
整形外科	初診	日下・河合	青芝/山賀	塚田	後藤(毅)	前田	担当医
	予約診	—	—	前田	河合	大友	—
	予約診	—	今泉	日下	山賀	日下	今泉 (第1・3週)
	予約診	後藤(毅)	塚田	青芝	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1診	佐本 (非常勤)	田中 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
放射線治療科		—	田中(秀) (非常勤)	—	大宝 (非常勤)	—	—
歯科・口腔外科	初診	村松・稲垣 古澤	本橋・江原 玄	中島・稲垣 由井	村松・田村 稲垣	本橋・江原 木方	本橋・村松・江原 樽淳・由井

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。) ●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。